

第1回 香川県輸血 Web 研修会に参加頂きましてありがとうございました。

参加者の皆様には、「輸血検査の基礎」の講演に関して、愛媛大学附属病院 土居靖和先生よりご提供頂きました資料を7/11（日）にメール配信させて頂きました。

参加された方で、資料が受信できなかった方がいらっしゃいましたら、回生病院 臨床検査部 鬼松幸子（☎：kensa@kaisei.or.jp）までご連絡下さい。

遅くなりましたが、参加者アンケートからの質問に関する回答も掲載しておりますので、ご確認下さい。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【質問と回答】

Q. 認定制度の参加証明書申請は発行していただけるのでしょうか。

A. 発行しておりません

日臨技 HP の会員専用ページからご自身で発行して下さい。

Q. 輸血検査で質問ですが、各種検査判定時に気泡は入ってしまう事がありますが、スタンダード輸血検査テキストなどでは気泡を除去後判定とあるのですが正しい気泡除去のタイミングを教えてくださいませんか？遠心前セルボタンを作成前に除去し遠心判定するのか、遠心後セルボタンを作成後に気泡を除去し判定なのか？

A. 試験管法、カラム凝集法ともに遠心後、判定前に気泡を除去しようとしますとセルボタンが崩れてしまったり、判定に影響しますので、遠心前に除去することをお勧めします。

気泡除去のタイミングより、気泡を発生させないような基本的な操作技術（スポイド操作やピペット操作）を習得されることが望まれます。